

# アジア・太平洋電気通信共同体 (APT) 無線通信グループ (AWG) 第25回会合 (2019年7月1日-5日)報告

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 国際周波数政策室

# 1. APT無線通信グループについて

APT無線通信グループ (AWG: APT Wireless Group) は、前身であるAPT無線通信フォーラム (AWF)を発展的に再編成し設立されたアジア・太平洋地域における国際会議であり、同地域の無線通信システムの高度化及び普及促進を目的として、年2回程度開催されている。

AWGは、図に示すとおり、WG SPEC (周波数に係るワーキンググループ)、WG TECH (技術に係るワーキンググループ) 及びWG S&A (サービスとアプリケーションに係るワーキンググループ) で構成され、それぞれのワーキンググループには個別議題の検討を行うSub WG (サブワーキンググループ) やTG (タスクグループ) が設置されている。

# 2. AWG第25回会合について

2019年7月1日(月)~5日(金)の間、AWG第25回会合(AWG-25)がインドネシアのタンゲランにて開催された。APT域内の20か国・地域の政府、無線通信関係機関、民間企業等から約260名(うち我が国からは約40名)が参加し、95件の入力文書の審議が行われ、29件の出力文書が作成された。

AWG議長は、2014年より(一社)電波産業会(ARIB)の佐藤孝平氏が務めていたが、任期により今会合が最終会合となった。同様に副議長についても任期満了を迎えることから、本会合では次回以降の議長等に関する議論が行われた(後述)。また、WG TECHの下に設置されているSub WG及びTGの議長には、前会合から引き続いて我が国から4名が就任している。

### 3. 主な結果概要

今会合の主な議題の結果は以下のとおりである。

#### ① IMT関係

6GHz以下及び24.25GHz以上における5Gの実装について、 各国の情報や検討事項を記載した新APT報告の作成を開始した。また、中国からは6GHz帯のIMT特定に向けた WRC-23新議題提案に関する情報が入力された。

#### ② 高度道路交通システム (ITS)

日本提案の新APT報告「セルラーによるV2X」及び「ミリ波ITSアプリケーション」の作成を開始した。両文書ともに日本からの入力をベースに検討が進められ、次回会合で継続審議予定。

#### ③ 高高度プラットフォーム (HAPS)

日本がAPG19-3で提案したIMT基地局としてのHAPSの周波数特定に関するWRC-23新議題に関し、前回会合より「HAPS IMT基地局の技術・運用に関する新APT報告草案」の作成が開始されたものであり、各国の情報を基に新APT報告「HAPS IMT基地局の技術・運用」を作成、今回会合で最終化された。なお、今回会合から本件に関する新TGが設置されている。

#### ④ 鉄道無線

WRC-19議題1.11 (鉄道無線の周波数調和) に関し、APG19-5 でのAPT暫定見解形成に向けて、中国がAWGからAPGに リエゾン文書を発出することを提案し、周波数が記載された形での発出を合意した。また、RSTT展開に関する新 APT報告については、今回会合で日本の入力内容が全て 承認された形で最終化された。

#### ⑤ 固定無線システム

AWG-23 (2018年4月) から議論が行われている「風による FWSリンク特性の劣化のモデル化に対する勧告/報告草案 に向けた作業文書」について、日本からの入力が反映された形で次回会合にキャリーフォワードされた。また、ETSI の関連会合に対してリエゾン文書を発出し、本文書に対するコメントを求めることを合意した。

#### ⑥ 旅客機とのワイヤレスブロードバンド地対空通信

AWG-22 (2017年9月) から議論が行われてきた「旅客機における地対空ワイヤレスブロードバンド通信に関する新報告草案」について、中国がWRC-19課題9.1.1関連周波数帯の記述の削除を主張したが、議論の結果、記述を修正の上、報告書を完成した。



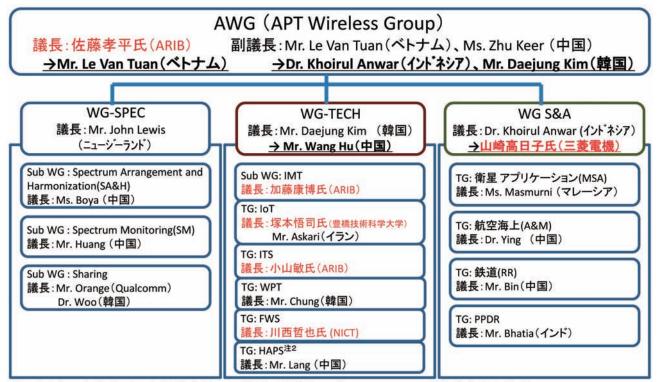
## 4. 次回以降の体制について

先述のとおりAWG議長は2014年より佐藤孝平氏が務めていたが、任期により本会合が、同氏が議長を務める最後の会合となった。同様に副議長の2名も任期満了を迎えた。このため、次回以降の議長等についても話し合いが行われ、現副議長のTuan氏(ベトナム)が議長に、それぞれWG-TECH、WG S&Aの議長を務めるKim氏(韓国)、Anwar氏(インドネシア)が副議長に就任することとなった。これにより空白となった各WG議長には、WG TECHにHu氏(中国)、WG S&Aに山崎高日子氏(日本、三菱電機)が就任した。

また、日韓共同寄書による提案を受け、退任するAWG 議長をAWG Steering Committeeに「AWG名誉議長 (Honorary Chairman)」として招待することが承認された。

## 5. 次回会合について

本年はWRCが開催される年であることを受け、AWGは本会合の1回のみとなっており、次回会合(AWG-26会合)は、2020年に開催される予定である。今後のAWG会合においても我が国が積極的に議論を主導するとともに、アジア・太平洋地域との連携をより一層強固なものとし、同地域の無線通信の発展に貢献してまいりたい。



注1:図中の矢印後は、次回会合からの議長・副議長 注2:TG HAPSは今会合から設置

■図. AWGの構成